

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（柏崎刈羽原子力発電所7号炉 設計及び工事の計画）【220】
2. 日時：令和2年6月12日 13時30分～15時50分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

名倉安全管理調査官※、江崎企画調査官、  
岸野主任安全審査官※、津金主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官※、  
三浦主任安全審査官、小野安全審査専門職※、服部安全審査専門職、  
山浦技術参与※

事業者：

東京電力ホールディングス株式会社

原子力設備管理部 土木総括部長 他7名※

## 5. 要旨

(1) 東京電力ホールディングス株式会社から、柏崎刈羽原子力発電所7号機の工事計画認可申請書のうち、耐震性に関する説明書について、令和2年5月7日、5月21日、6月4日及び6月5日提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点について説明等を求めた。

### 【スクリーン室、取水路、補機冷却用海水取水路の耐震安全性評価】

- 補機冷却用海水取水路（妻壁部）について、水平方向の鉄筋の径、配置、定着等の状況がわかるように説明すること。
- 補機冷却用海水取水路の増し打ち部分について、解析モデルにおける剛性及び質量の考え方を説明すること。
- 7号機タービン建屋のモデル作成プロセスを具体的に説明すること。
- 補機冷却用海水取水路の妻壁西側面の境界条件を説明すること。
- 補機冷却用海水取水路が接触に伴う隣接の7号機タービン建屋に及ぼす影響を説明すること。
- 3次元構造解析における7号機タービン建屋との境界条件に用いているローラー支点の反力に対して、タービン建屋の外壁が健全であることを説明すること。
- 照査時刻の選定について、2次元動的FEM解析のモデル化の条件（各部材と地盤の相互作用）との関係を踏まえ、想定事象と着目部位を設定した理由を説明すること。また、水平2方向の地震荷重の組合せに

ついて、照査時刻の選定方針を説明すること。

- 照査時刻の抽出事象について、補機冷却用海水取水路の二次元動的FEM解析結果に基づく各事象の土水圧分布の比較結果を説明すること。
- 補機冷却用海水取水路の照査値が最大となった検証ケースについて、底盤を代表とした理由を説明すること。
- 補機冷却用海水取水路の曲げ照査値及びせん断力照査値の算定プロセスを説明すること。

**【常設代替交流電源設備基礎の耐震安全性評価】**

- 壁材の面内せん断力の照査結果を説明すること。

**【軽油タンク基礎の耐震安全性評価】**

- 鋼管杭の引抜きに対する支持性能照査について、基準地震動 $S_s - 3$ とケース③の組合せの安全余裕を説明すること。

(3) 東京電力ホールディングス株式会社から、本日の説明等を求められた内容について了解した旨の回答があった。

6. その他  
なし